

令和2年度 大阪市教育センター経営方針 令和2年6月

令和2年度 重点（教育センターは何をめざすのか）

○研修・研究及び事業を推進することで、学校園教育のシンクタンクとして教員の授業力及び指導力の向上を支援し、国際化の進展や未曾有の災害発生等に立ち向かう子どもたちの「生き抜く力」を育成することをめざす。

現状認識（どのような課題意識を持っているか）

○社会が多様化し激しく変化する中で、社会のルールを理解し自律する力、他者を尊重し思いやる心、適切な人間関係を図るコミュニケーション能力、多様性を受け入れる力を育成する必要がある。
 ○幼稚園教育要領、学習指導要領をふまえた授業改善に取り組むことにより、すべての子どもたちが、基礎学力、論理的思考能力を習得し、様々な情報をもとに自分の力で考え、自己の判断と責任のもとに国際社会において力強く生きていけるようにする必要がある。
 ○教員の大量採用が続いていることにより、採用後10年以下の教員が全教員の半数以上を占めている現状から、教員の授業力をはじめとする指導力を向上する必要がある。

主な戦略（どのように課題を解決していくか）

○幼稚園教育要領、学習指導要領をふまえ、教育実践のイノベーションにつながる研究を推進するとともに、各学校園での研究を支援し、その成果を発信する。
 ○教員のニーズやキャリアステージに応じた研修内容の充実を図ることにより、教員の授業力をはじめとする指導力の向上についての支援を行う。

経営課題	戦略	具体的取組・業績目標	
1 教育実践のイノベーションにつながる研究の推進	ア 「waku ^{x2} .com-bee(大阪市の授業のスタンダード)」の充実	1 「waku ^{x2} .com-bee(大阪市の授業のスタンダード)」の活用の推進	○学習指導要領の小学校における今年度全面実施並びに中学校における来年度全面実施に向けて、「waku ^{x2} .com-bee」の基本のページの改善・充実を図るとともに、研修資料等掲載するコンテンツの充実を図り、有効に活用できるようにする。 ・教育委員会、各校園、研究会等の実践事例等のコンテンツを1000以上追加
	イ 学校園等の研究支援の充実	1 「がんばる先生支援」の推進	○「研究支援（教員のための実践研究）」を通して、教員の資質や指導力向上を図り、主体的な研究活動を支援する。 ・「研究支援（教員のための実践研究）」の審査会において、研究が達成目標に到達していると評価された割合100% ○「研究支援（教員のための実践研究）」では研究内容や研究資料等を活用できるよう、「waku ^{x2} .com-bee」で公開する。 ・すべての選定グループの研究成果物を掲載

経営課題	戦略	具体的取組・業績目標
		<p>2 今日の課題の解決を図る研究の充実</p> <p>○「『新たな時代を豊かに生きる力の育成～ICT活用の促進を通じた『主体的・対話的で深い学び』の実現～』をテーマに、小中学校におけるICTを活用した授業実践と、より効果的な授業づくりの研究を行う。 ・研究内容を研究紀要にまとめて教育センターHPに掲載</p> <p>3 各校園からの指導要請等への対応の充実</p> <p>○各教科・領域に関する教育活動の充実を図るため、各校園からの指導要請に対し適切に指導助言を行う。 ・指導要請の受諾率：90%以上</p> <p>4 大阪市教員養成協働研究講座</p> <p>(大阪教育大学と連携し、次の取組を実施)</p> <p>○大学と協働した教員研修プログラムの開発を行う。管理職を対象に資質向上や学校現場の課題に応じた研修を実施する。 ・充実度：90%以上</p> <p>○学校内外でICTを活用した授業等の研修を企画・運営し、教育の情報化を推進する教員(学校教育ICT推進リーダー)を養成する研修を実施する。 ・学校教育ICT推進リーダーが、ICTを活用した授業等の研修を企画・運営した割合(予定を含む)：90%以上</p> <p>○教員が大学の研究知見を学び、勤務校の課題解決にむけた具体的方策を考え、実践する力を養う研修を実施する。 ・大学の研究知見を学んだ教員が、勤務校の課題解決にむけた具体的方策を考え、実践した割合(予定を含む)：90%以上</p> <p>○教職大学院に教員を派遣し、スクールリーダーシップや学校内外の関係者と協働した教育実践等の研究を通して、次代を担うリーダーを育成する。 ・教員派遣：8名以上</p> <p>○大学が提携している海外の大学・教育機関に教員を派遣し、知り得た知見を学校現場の教育活動に活かす研修を実施する。 ・派遣された教員が、知り得た知見を学校現場の教育活動に活かす研修を実施した割合(予定を含む)：100%</p>
	ウ ICT活用指導力の向上	<p>1 「学校教育ICT活用事業」の推進</p> <p>○教員のICT活用指導力の向上を図るため、計画的・系統的に研修を実施する。 ・充実度：85%以上</p> <p>○ICT教育推進アドバイザーやICT支援員を派遣し、各校の実態に応じてICT機器を活用した授業支援を行う。 ・「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(文部科学省)において、教員の児童・生徒のICT活用を指導する能力についての肯定的な回答の割合：80%以上</p> <p>○「学校教育ICTポータル」の実践事例を更新することで、充実を図る。 ・実践事例等のコンテンツを100以上追加</p>
	エ プログラミング教育の推進	<p>1 「プログラミング教育推進事業」</p> <p>○教員のプログラミング教育指導力の向上を図るため、計画的に研修を実施する。 ・充実度：90%以上</p> <p>・プログラミング教育に関する教員研修：eラーニングによる実施3回</p>

経営課題	戦略	具体的取組・業績目標	
2 教員のニーズやキャリアステージに応じた研修の充実	ア 学力向上に向けた取組の充実	1 分析結果を活用した研修	○昨年度までの全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題や、今年度の調査問題を踏まえ、本市や各校の課題に応じた児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善を図るための「学力向上授業研修」を実施する。 ・充実度：90%以上
	イ 若手教員の指導力の向上	1 OJT(若手教員育成支援) 事業	○採用2年目教員に実践的な指導力の向上を図るため、教育指導員を派遣し支援を行う。 ・教育センター事業評価アンケート(1月)で「授業が『わかる』『楽しい』と答える児童・生徒が増えた」とする旨の肯定的回答をするOJT対象の学校の割合：80%以上 ○メンターを中心とした若手教員育成の充実・活性化を図るため教育指導員を派遣し支援を行う。 ・教育センター事業評価アンケート(1月)で「若手教員の研究(研修)に関する支援は役立った」とする旨の肯定的回答をする学校の割合：90%以上 ○校内の若手教員の育成に向けて、各校のメンター等に対して研修を行う。 ・充実度：90%以上
	ウ キャリアステージに対応した研修の実施	1 新任教員研修(1年目・2年目)	○採用1年目教員を対象に、基礎的・基本的な指導力の向上を図るため、計画的に研修を実施する。 ・充実度：90%以上 ○採用2年目教員を対象に、新任教員1年目で身に付けた基礎的・基本的な指導力を基に、教員2年目として教科等の実践的な指導技術力の向上を図るため、計画的に研修を実施する。 ・共通研修の充実度：90%以上
	2 5年次教員研修	本年度、新型コロナウイルス感染症対策のため実施しない。	
	3 中堅教員研修	本年度、新型コロナウイルス感染症対策のため実施しない。	
	4 教科研修	○各教科の指導力の向上を図るために、「教科等指導力向上研修」を実施する。 ・充実度：90%以上 ○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の理解を深め、指導力の向上を図るために、教科・領域において「教育課程説明会」をeラーニングで実施する。 ・自校での伝達率：100%	
	エ 学校の組織力・経営力を高める研修の実施	1 管理職研修	○今日的な教育課題を踏まえ、学校園経営全般にわたる専門的資質の向上を図る研修を実施する。 ・充実度：85%以上
	2 首席・幼稚園主任研修	○新任首席・新任幼稚園主任が、教育活動への見識・実践力を身に付け、学校園運営に主体的に参画し、組織力の向上に資する研修を実施する。 ・充実度：85%以上	

経営課題	戦略	具体的取組・業績目標	
	オ 時代のニーズや課題に応じた研修の実施	1 分析結果を活用した研修	○昨年度までの全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題や、今年度の調査問題を踏まえ、本市や各校の課題に応じた児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善を図るための「学力向上授業研修」を実施する。 ・充実度：90%以上
		2 集団育成に関する研修	○学級集団づくりに関する指導力の向上を図るため、本市採用2年目～4年目教員を対象に「学級集団づくり研修」を実施する。 ・充実度：85%以上
		3 道徳心・社会性の育成に関する研修	○道徳教育および道徳科の充実を図るため、「道徳教育推進教師研修」を実施する。 ・充実度：90%以上 ○「大阪市道徳教育のさらなる充実に向けた推進会議」研究支援校モデル校を小学校2校・中学校1校、及び拠点校を8校指定し、実践の充実に向けた支援を行う。
		4 小学校外国語活動・英語教育に関する研修	○小学校中学年担当教員や高学年担当教員対象に外国語教育に必要な知識と技能を修得するための研修をeラーニングで実施する。中学校英語科教員の英語力向上に向けた研修は本年度、新型コロナウイルス感染症対策のため、2年目の中学校英語科担当教員を対象としたもののみ実施する。 ・充実度：90%以上
		5 理科教育に関する研修	○教員の理科指導力の向上を図るために、小・中学校の教育研究会やCST（コアサイエンスティーチャー）と連携し、授業づくりや観察・実験の研修を実施する。 ・充実度：90%以上 ○児童・生徒に興味をもたせる理科の学習を充実させるために、博物館・科学館、咲くやこの花館等と連携し、発展的な学習活動の研修を充実させる。 ・充実度：90%以上
		6 栄養教諭・学校栄養職員研修	○専門的な知識・技術を習得し、指導力の向上を図るため、食に関する今日的課題を踏まえた実践的な研修を実施する。 ・充実度：85%以上
		7 養護教諭・養護職員研修	○専門職としての知識や指導力の向上をめざし、学校保健の今日的課題を踏まえた実践的な研修を実施する。 ・充実度：85%以上
		8 特別支援教育に関する研修等	○インクルーシブ教育の推進に資するため、「中学校特別支援学級新任教員研修」等を実施する。（eラーニングを含めて実施） ・充実度：90%以上

経営課題	戦略	具体的取組・業績目標		
	カ 地域における研修の実施	9 情報教育に関する研修	○情報モラル教育の指導力の向上を図るため、各校の中核となる教員を対象に、情報モラル教育研修を実施する。 ・充実度：90%以上	
		1 教職員地域研修	○各地域や学校園の課題やニーズにそった研修を実施するとともに、校園内研修の充実にむけた支援を行う。 ・充実度：90%以上 ○教科指導力の向上を図るために、指導教諭や教育研究会等と連携し、地域のニーズに応じた研修を実施する。 ・充実度：90%以上	
		キ 採用前研修の実施	1 内定者研修	○教職員人事担当と連携を図りながら採用内定者の実態に応じた研修内容を実施する。 ・充実度：90%以上
			2 大阪市教師養成講座(小・中学校)	○教員としての資質・能力を備えた人材の確保・育成をめざし、教職員人事担当と連携を図りながら講座を実施する。 ・充実度：90%以上
3 情報発信の充実	ア Webページ等の充実	○教育センターの取組をWebページ等で計画的に発信する。 ○Webアクセシビリティに対応したWebページを作成する。		
4 教育センター事業の評価	ア 外部評価の推進	○事業評価会議における協議内容を踏まえ、次年度の研修・研究事業等について検討し、改善する。		
5 教育センターの環境整備	ア 環境保全の推進	○環境保全の取組を推進し経費を削減する。		

◇受講者アンケートによる各研修の充実度について、85%未満の研修数の割合を全研修数の5%以下にする。

「充実度」→「大阪市教育センター研修受講シート」の設問4「本日の研修は、充実していましたか」に対して、「思う」「どちらかといえば思う」と回答した割合の合計を表す。